

2020-2021 シーズン

フィギュアスケート国際競技会派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。

1. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル3枠、ペア・アイスダンス各1枠)

(1) 男女シングル

- ① 全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ② 以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して1名選考する。
 - A) 全日本選手権大会2、3位
 - B) ISUグランプリシリーズ出場選手の中で、各大会の表彰台に上がった選手上位2名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
- ③ 以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①②で選考された選手を含め3名に達するまで選考する。
 - A) ②のA)からC)に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUグランプリシリーズベストスコア上位3名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。ただし、過去に世界選手権大会6位以内に入賞した実績のある選手が、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす者から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会優勝組
- B) 全日本選手権大会終了時点でのISUグランプリシリーズベストスコア上位3組

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。ただし、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

2. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル、ペア・アイスダンス 各3枠)

(1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会 10 位以内
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 6 名
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU グランプリシリーズベストスコア上位 6 名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。

ただし、過去に世界選手権大会 6 位以内に入賞した実績のある選手が、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。ただし、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 国際的競技力を考慮した結果、派遣可能な最大数を満たさないことがある。

(3) アイスダンス

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たした組の中から、国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

(派遣基準点はフィギュア委員会指定の競技会において得ることを要する)

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。ただし、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 国際的競技力を考慮した結果、派遣可能な最大数を満たさないことがある。

3. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男子シングル3枠、女子シングル2枠、ペア・アイスダンス各1枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権大会時に開催される選考委員会にて決定される。

(1) 男子シングル

①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。

②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め3名に達するまで選考する。

- A) 全日本ジュニア選手権大会 2 位、3 位の選手
- B) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
- C) 東・西日本ジュニア選手権で獲得した総合得点の統合ランキング上位 3 名

D) 東・西日本選手権で獲得した総合得点の統合ランキング上位3名

(2) 女子シングル

①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。

②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、

①で選考された選手を含め2名に達するまで選考する。

A) 全日本ジュニア選手権大会2位、3位の選手

B) 全日本選手権大会参加者のうち上位3名

C) 東・西日本ジュニア選手権で獲得した総合得点の統合ランキング上位3名

D) 東・西日本選手権で獲得した総合得点の統合ランキング上位3名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。

ただし、過去に世界ジュニア選手権大会6位以内に入賞した実績のある選手が、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会にて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

(3) ペア・アイスダンス

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たした組の中から、国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

（派遣基準点はフィギュア委員会指定の競技大会において得ることを要する）

※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。ただし、けが・感染症等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが・感染症等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

※ 国際的競技力を考慮した結果、派遣しないことがある。

4. 第30回ユニバーシアード冬季競技大会

（男女シングル各3枠）

下記の条件を満たしたものを対象にユニバーシアード派遣選考会を行い、派遣選手を強化部で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。なお、昨年度世界選手権代表選手がユニバーシアード出場を希望した場合、選考会を免除し、正選手として内定する。

(1) ユニバーシアード候補選手

昨年提示している、ユニバーシアード候補選手指定のための、強化部が定めた競技会および順位を満たしており、事務局からJOCへ候補選手リストとして提出されている選手。また、指定期日にユニバーシアード派遣前チェックを受けることが可能な選手。

(2) 選考会対象選手

上記候補選手の中で今シーズンブロック大会または、東・西日本選手権に於いて強化部の指定した得点を獲得

した選手。なお強化部が指定する点数はブロック大会開始前までに告知する。

(3) 選考方法

以下のいずれかを満たす者から、内定選手を含め、男女シングル各3名に達するまで選考する。

11月の全日本ジュニア選手権時に開催予定のユニバーシアード派遣選考会（フラット八戸）における演技、及び今シーズンのそれまでの演技内容を加味した上で総合的に判断し、選考する。なお、選考会に参加出来ない選手は原則対象とはならない。

なお全日本ジュニア選手権に出場する対象選手に関しては、同一会場で行われる全日本ジュニア選手権フリーの演技を選考のための対象演技とする。

5. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム (B 級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会までに、強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

※ 最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。

※ 国際的競技力を考慮した結果、派遣しないことがある。

6. 世界ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム
- C) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会までに強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

※ 最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。

※ 国際的競技力を考慮した結果、派遣しないことがある。

7. その他の国際競技会派遣

- ・ノービス国際競技会については、全日本ノービス選手権大会の上位選手を選考対象とする。
- ・国際競技会については、事前に調査した上で、強化方針に従って選考する。なお別途選考会を開催する場合もある。

新型コロナウイルス感染症の影響による選考基準変更の可能性について

- ・新型コロナウイルスの影響により、選考基準上の対象競技会が延期・実施されない、または派遣できず、選考基準の項目を満たせなくなった場合、該当する選考基準項目に関して、再度選考基準および前提条件を設定する。
- ・ISU グランプリファイナルが年内に開催されることとなり、日本国における新型コロナウイルス感染症に対する検疫等で最終選考会への出場が困難となった場合、全日本選手権が最終選考会となっている競技会(世界選手権・世界ジュニア選手権・四大陸選手権)について、再度選考基準および前提条件を設定する。

選考基準における補足事項

- ・各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。
- ・『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- ・補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ・ISU が出場のためのミニマムポイントを設定している競技会派遣選考に際し、最終選考会時点で当該競技会のミニマムポイントを持っていない選手・カップルは、ISU の定める獲得期限日までにミニマムポイント獲得を条件として選考することがある。
- ・当該国際競技会に派遣するにあたって、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、派遣枠があった場合においても派遣しない場合がある。
- ・フィギュア委員会が定める派遣基準点、および派遣基準点獲得可能な指定競技会は、ペア・アイスダンスは東・西日本選手権大会前に提示する。